

キッズ・モニター + アンケート

第7回テーマ

のうりんすいさんぎょう のうりんすいさんぶつ
「農林水産業と農林水産物について」

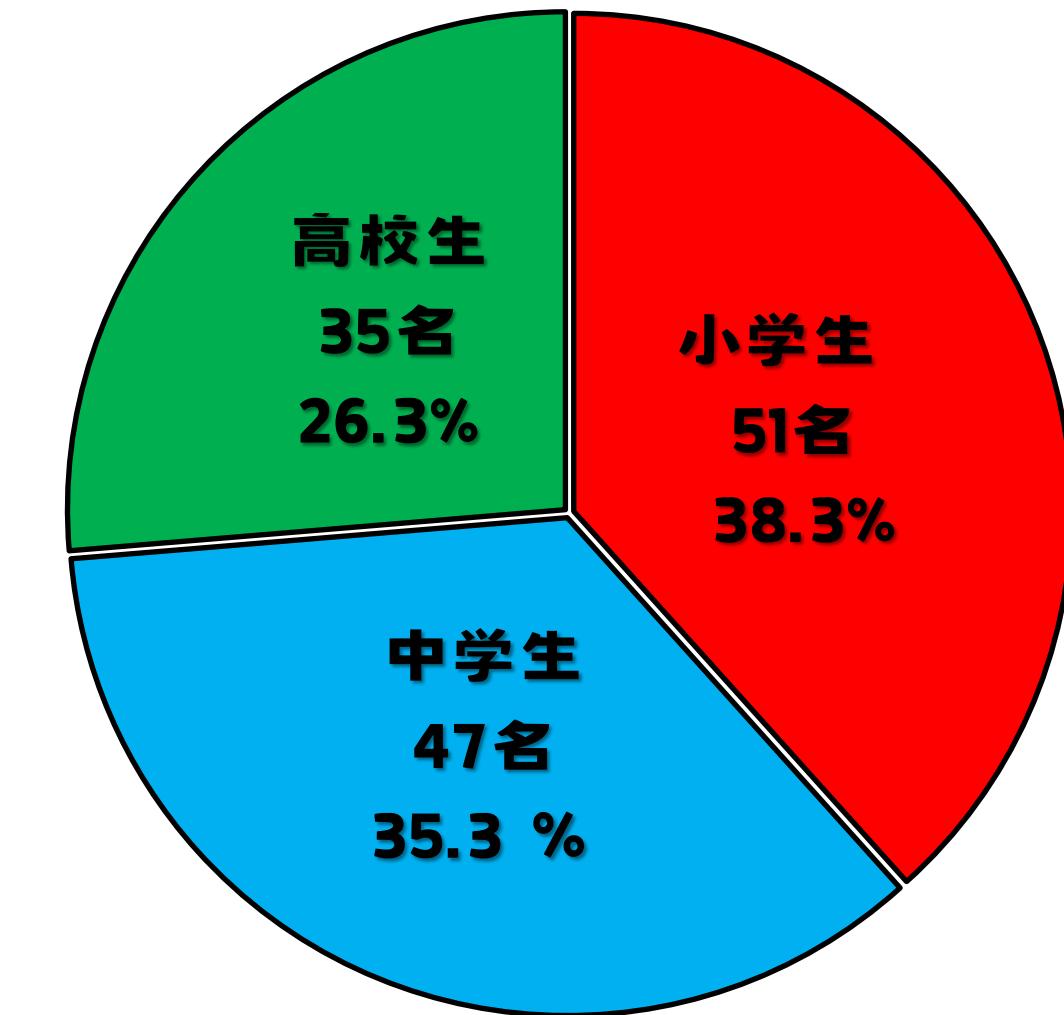


1. 実施期間 令和7年10月31日（金）～令和7年11月21日（金）
2. 回答者数 133人
3. 回答率 23.1% (133人 / 577人)
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査（ちょうさ）
5. 担当課 フードイノベーション課

みなさんに聞いたこと

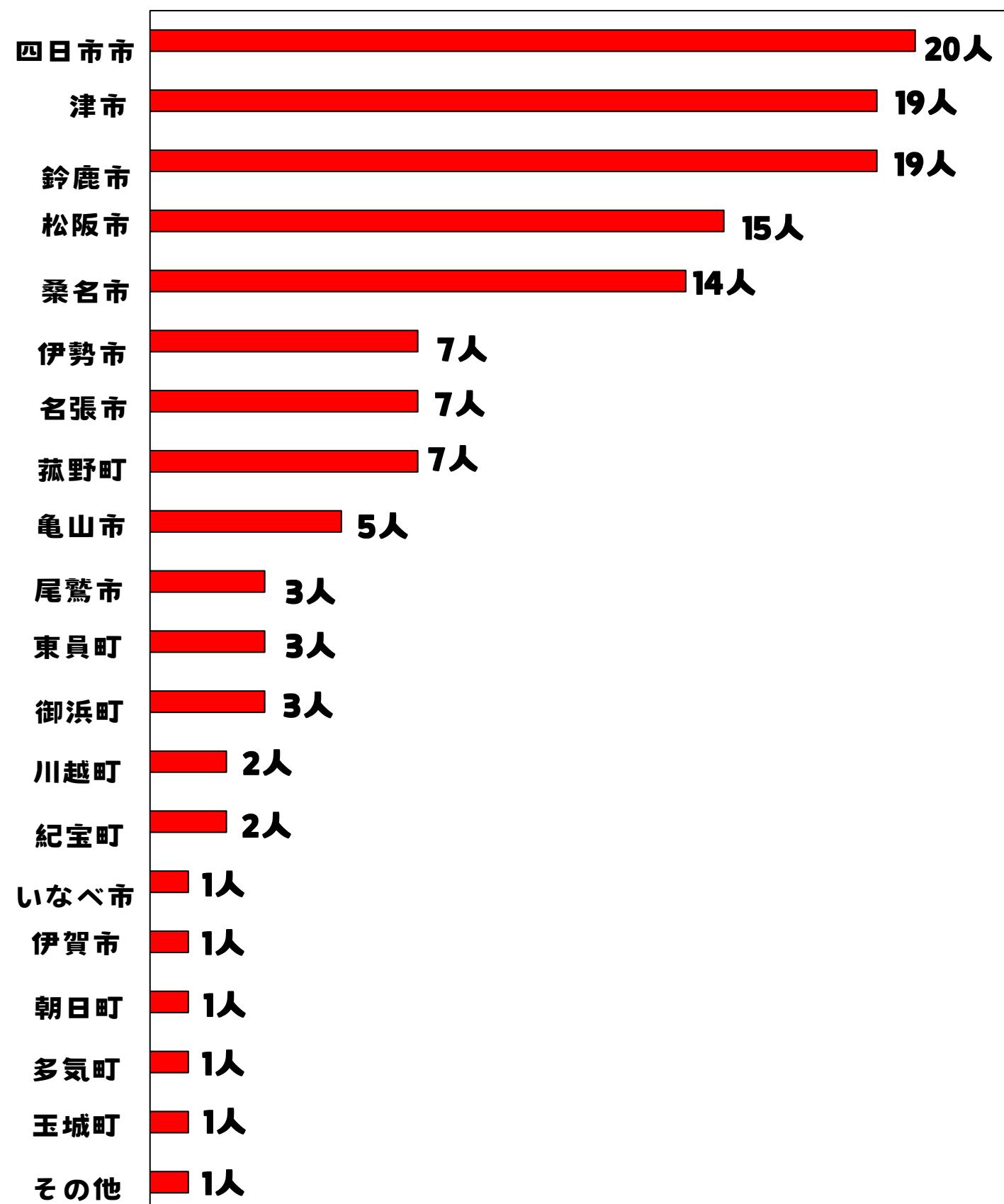
1. あなたの住んでいる市町について
2. 三重県の農林水産物を使った給食を知っていますか？
3. 地元の農林水産物を食べたいと思いますか？
4. 「地産地消」のよいことについて
5. 地域の農林水産業や農林水産物を知ることができる
体験や授業について
6. (5)の中で、特に印象に残っている体験は？
7. (5)の体験をして、どんないいことがありましたか？
8. 「農林水産業」にはどんなイメージがありますか？
9. 三重県の農林水産物について

回答していただいたみなさんの年代



回答していただいたみなさん、ありがとうございました！

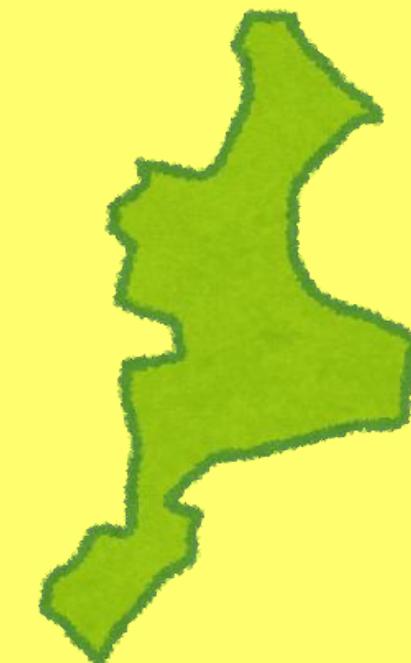
1. あなたの住んでいる市（町）は？



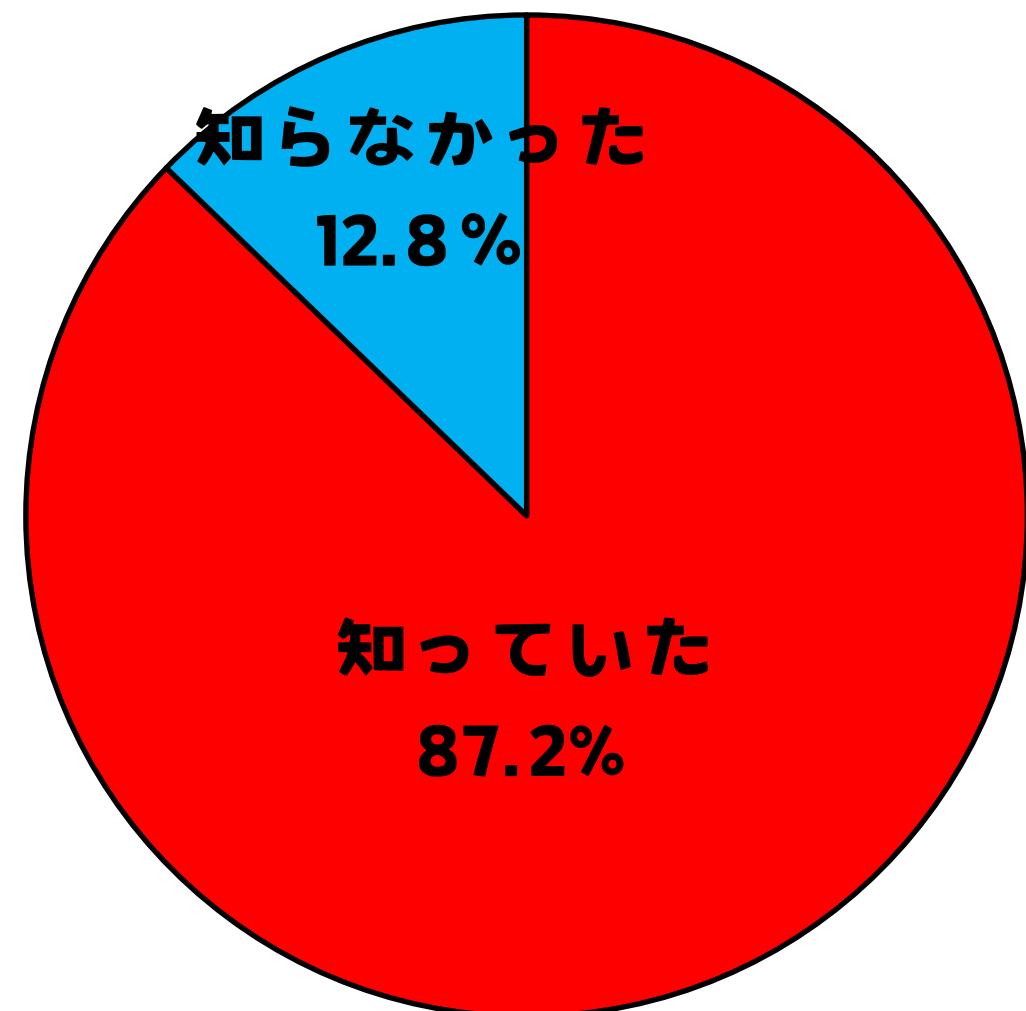
担当課より

三重県の全29市町のうち
19市町の方からご回答いただきました。

ご回答いただいたみなさま、
ありがとうございました！



2. 月に1回くらい、地元の食材がたくさん使われた給食が提供（ていきょう）されていることを知っていましたか？



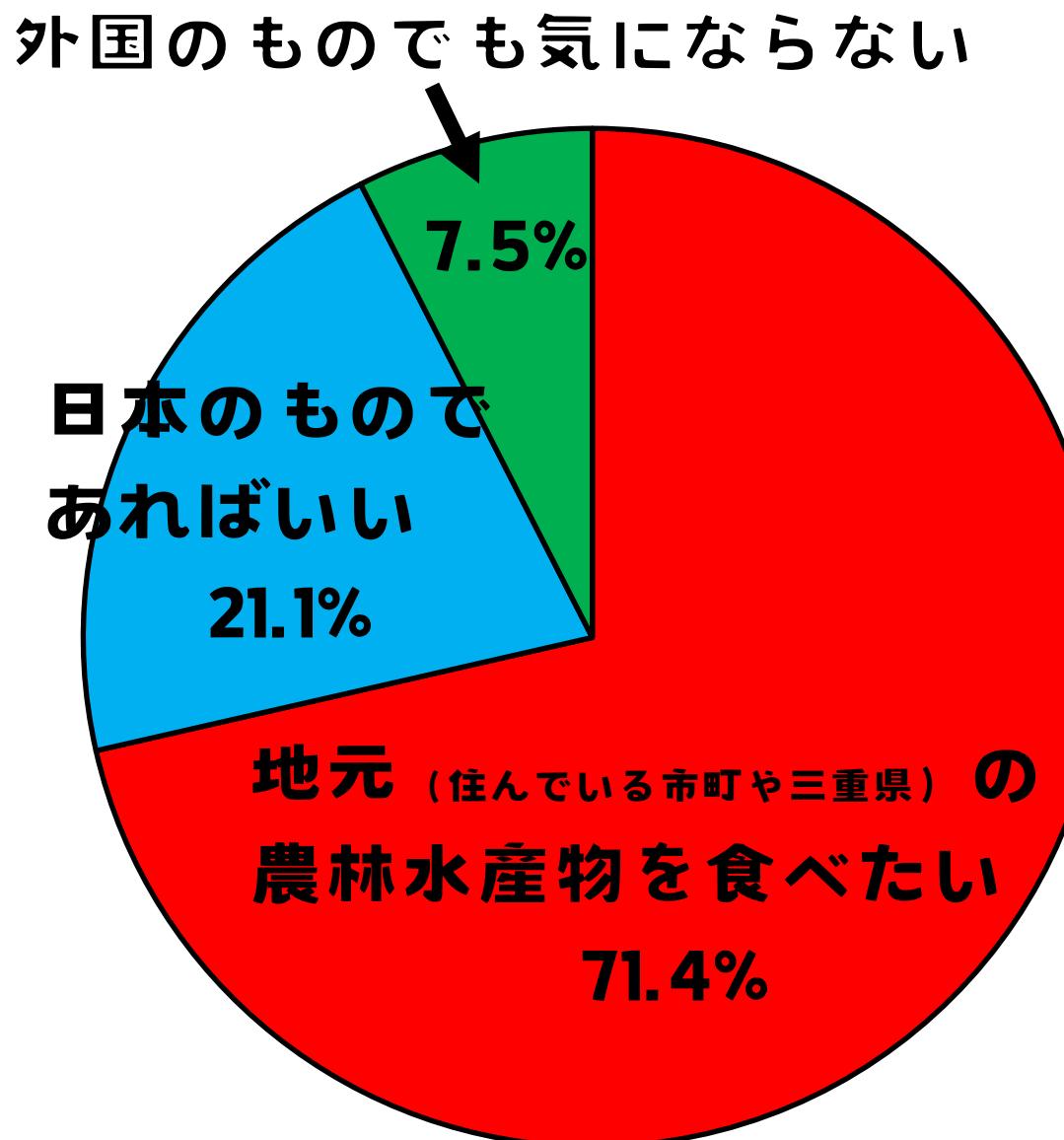
担当課より

約9割の人が、地元の食材がたくさん使われた給食が提供されていることを「知っている」という結果となりました。

三重県では毎月第3日曜をはさむ前後1週間で「みえ地物一番給食の日」を設定しており、地場産物(三重県産の食材)を多く取り入れた学校給食・食育をおこなっています。

地域によっては、その地域ならではの給食名がついていることもあります！
ぜひ献立表（こんだてひょう）をチェックしてみてください！

3. おうちや給食で、地元の農林水産物を使った食事を食べたいですか？



担当課より

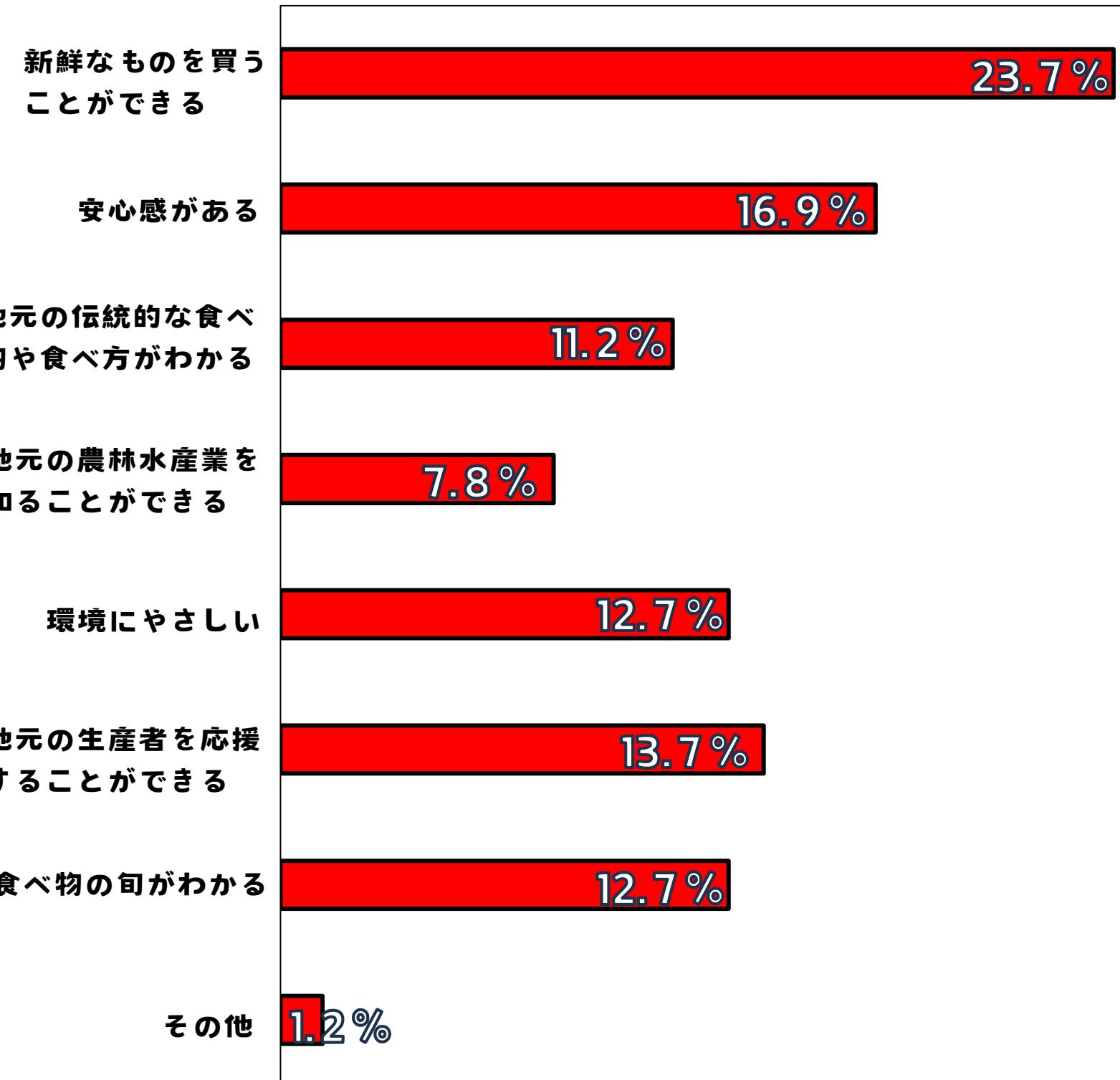
地元の農林水産物を食べたい人が71.4%と多くの人が「地元のものを食べたい」と思っているという結果になりました。



↑このマークを見たことがありますか？

このマークがついている商品は、三重県のものが使われています。
スーパーや直売所で探してみてくださいね！

4. 「地産地消※」のよいと思うことは?



担当課より

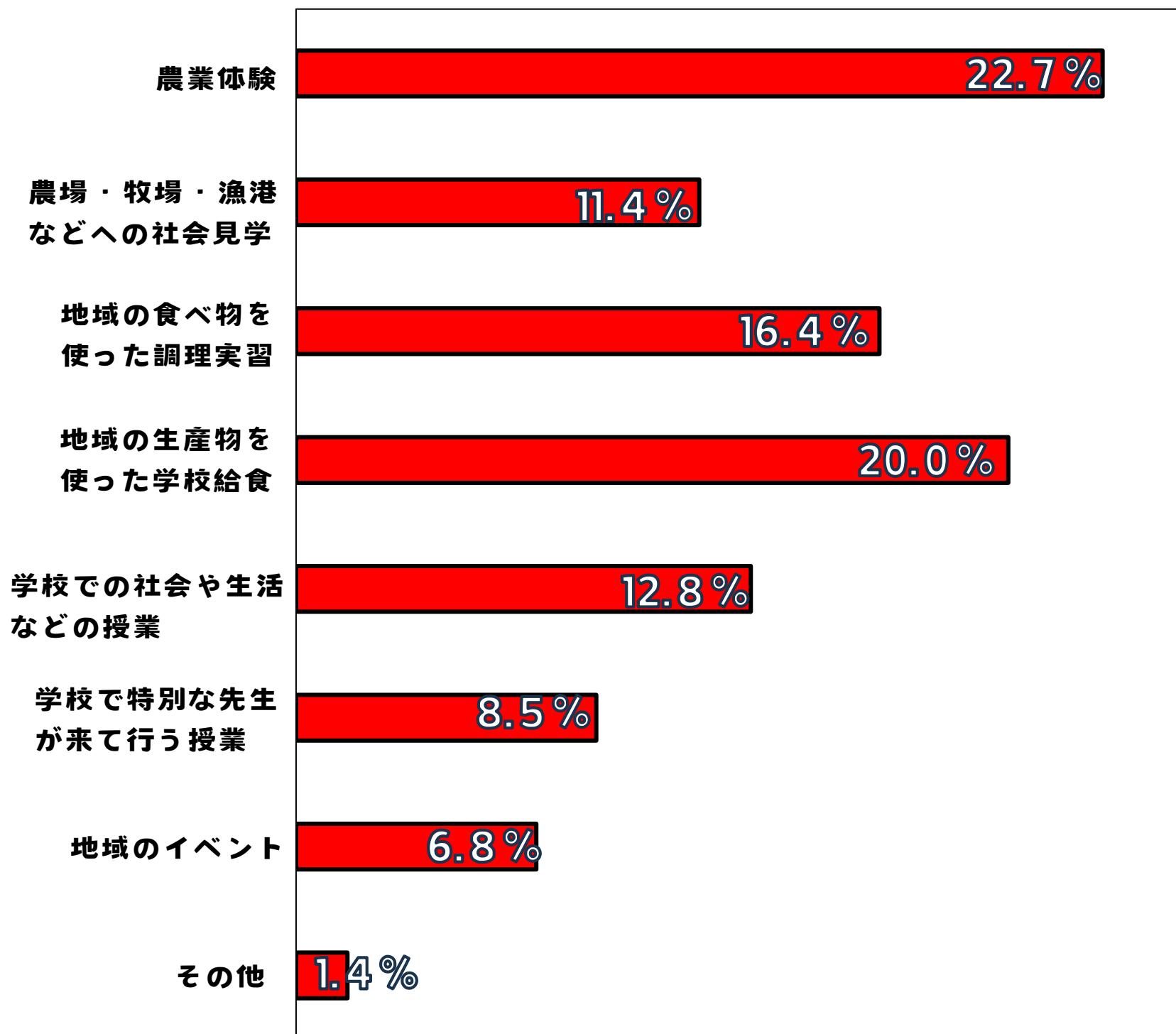
「新鮮なものを買うことができる」が一番多い結果となりました。

三重県は、あたたかな気候に恵まれて、たくさんの野菜や果物が生産されています。

また、全国有数の水産県であり、漁業も多くおこなわれています。

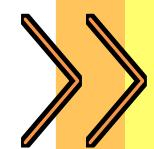
地域の農林水産物やこれらを使った料理などを消費することは、地元で生産された農林水産物や食への理解・关心を深めることに加え、未来の食料生産を守るために大切です。

5. 地域の農林水産業や農林水産物を知ることができる体験や授業の中で、あなたが経験したことのあるものを教えてください。



担当課より

「農業体験」が22.7%で1番多く、次いで20.0%で「地域の生産物を使った学校給食」という結果となりました。



また、「地域の食べ物を使った調理実習」も16.4%と多かったです。

じつさいに農作物の収穫などの体験や収穫した生産物を活用するという体験をしたことがある人が多いとわかりました。

6. (5) で答えた中で、特に楽しいと思ったり、よく覚えていたりするものを教えてください。

担当課より

「稻刈り」「さつまいも掘り」など、さまざまな体験活動をあげていただきました。また「学校給食」についてや「給食に合わせた“食育”」について教えてくれた人も多かったです。いくつか意見を選びましたので、紹介します。

・ 稲刈り体験



・ 自分たちが育てたものを使って料理を作った。



・ さつまいも掘りをしてスイートポテトを作ったこと。



・ 地元の方が芋掘りや落花生掘りの体験をさせてくれるイベント



・ 地物一番給食



・ 今日の給食になにがつかわれているかを勉強する食育の授業

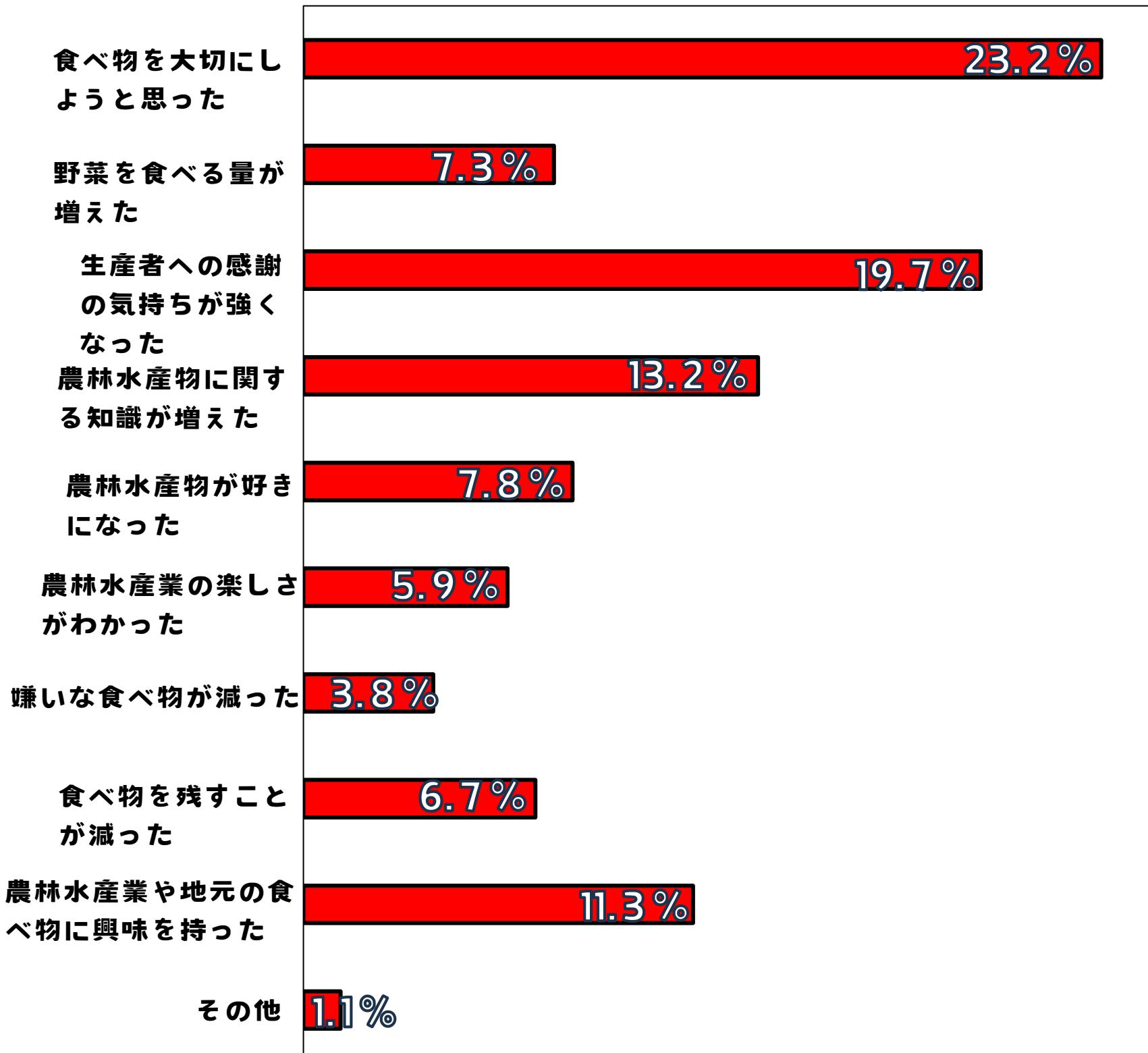


・ 牧場見学で牛がどんなものを食べているかや、牛の雑学などをより詳しく知れたこと。



・ 学校の畑で、クラスメイトとスイカを育てたこと。大きく育ってきたと友だちと喜んでいたところで、野生の動物にやられてしまった出来事。

7. (5) の体験や勉強をして、 どんないいことがありましたか？



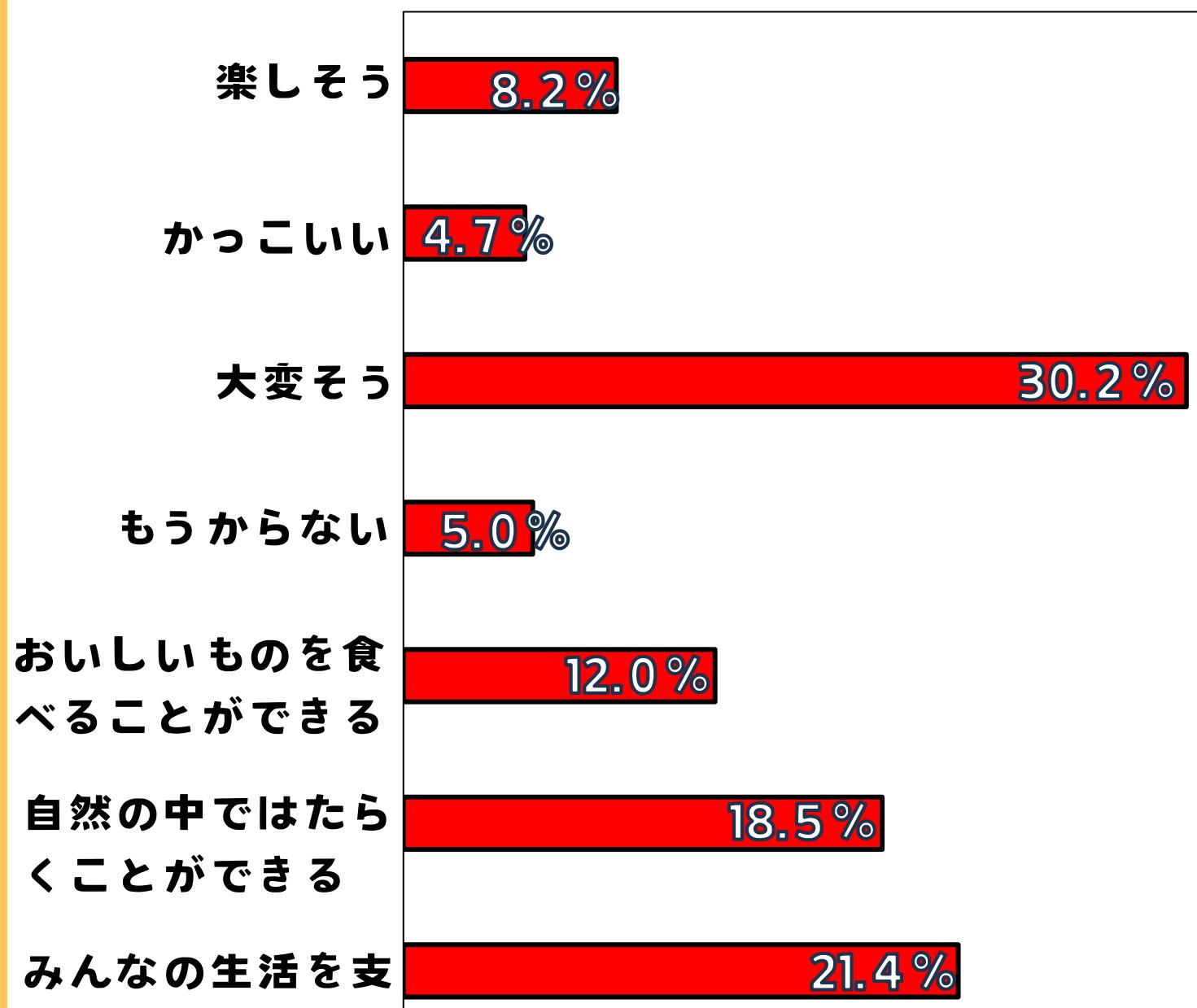
担当課より

「食べ物を大切にしようと思った」が23.2%で一番多く、次いで19.7%で「生産者への感謝の気持ちが強くなった」を選んだ人が多い結果となりました。

ふだんの食事や学校給食に使われている食材が私たちのもとへ届くまでには、生産者さんをはじめ、たくさん的人が関わっています。

食材が届くまでに関わってくれた人たちや、一生懸命作ってくれた生産者さんに感謝するとともに、大切に食べましょう。

8. 農林水産業（お米、野菜、お肉、卵、魚、お茶などを生産するお仕事）には、どんなイメージがありますか？



担当課より

「大変そう」が30.2%で一番多い結果でした。農業体験等をやったことがある人はわかると思いますが、生産のお仕事は楽な仕事ではありません。

しかし、21.4%の人が選んでいるとおり、農林水産業は「みんなの生活を支える大切な仕事」であり、生産者さんは“おいしいものを届けたい”と毎日がんばっています。

地元のものを食べることで
地域の生産者さんを応援することができます。

皆さんも地元のものを食べて、地域の生産者さんや農林水産業を応援しませんか？

9. あなたが知っている三重県の農林水産物を教えてください。

担当課より

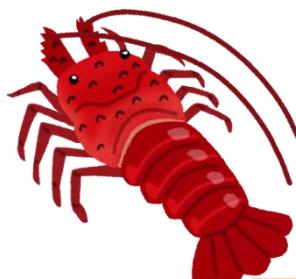
みなさんから全部で約430個、農林水産物をあげていただきました。
ありがとうございます。その中から特にたくさんあった回答を3つご紹介します。



1位 お茶

(回答数: 50件)

1番回答が多かったのはお茶でした。三重県のお茶生産は、栽培面積、生産量で全国第3位です。また、三重県産のお茶は「伊勢茶」と呼ばれています。



2位 伊勢えび

(回答数: 45件)

伊勢えびは三重ブランドにも認定されており、三重県を代表する水産物です。



3位 お米

(回答数: 40件)

回答の中には県産ブランド米である「結びの神」や伊賀米といった三重県ならではのものがたくさんありました。

他にも、「松阪牛」「伊賀牛」「みかん」「牡蠣」などたくさんの回答がありました。
また、食べ物だけでなく「尾鷲ひのき」や「真珠」といった回答もありました！

たくさんの
ご意見を
ありがとうございました



みなさんからいただいた回答は、フードイノベーション課が受け取りました。
地産地消の取組や農林水産業への理解を広めていくため、活用します！

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！



地物一番シンボルマーク